

## 「法中プライド」を守る！～自主的・自発的な生徒会～

「学び」「交流」「情報」の柱を軸に多世代が多目的に交流できる場として利用できる「キナルなんぶ」ができて2年目。皆さんも幅広い目的で活用されていると思いますが、果たしてキナルなんぶは、生徒たちにとって地域の方にとって「住みよい空間」になっているのでしょうか。

そのような疑問や提言は、我々学校教育関係者が口を出すことではないかもしれません、実は校長のもとに、「キナルなんぶの中学生の行動」について地域の方や県外の方から苦情が届き始めています。そのいくつかの声を紹介します。

- 中学生が学校帰りにスマホを利用している姿を見かけるが、法中は学校にスマホを持ってきていいのか。
- 図書館で静かに本を読みたいが、大きな声で騒いでいる中学生がいて集中できない。などとしてほしい。
- 走り回っている子がいるので注意してほしい。
- キッズコーナーを利用したいのに、中学生が多くいるので落ち着いて利用できない。

また、先月は、キナルなんぶの館長さんや職員の方が来校され、利用時の様子や想いを次のように語られました。

- 「伝統ある法中プライドを捨てたような行為が多く見かけられるようになった。」
- 「小学生も利用し、中学生の行動を見ているので、ぜひ模範となる行動をしてほしい。」

この話を聞いて、私自身も非常に残念で悔しい気持ちになりましたが、この事実を真剣に受け止めてくれた生徒会執行部が、自主的・自発的な取り組みをスタートしています。（写真）



【11月30日(水)の放課後】

←このときはノリで「隊列を作ってキナルに突撃しよう！」と話しながら歩いていました。そして、真面目な話をしに行くのに「ワクワク」していました。中は多くの小学生がいて、「小学生のお手本になる中学生でいたいな！」と改めて思いました。職員の大塚さんの話を聞きし、どんな思いで中学生と接しているのかがわかりました。「また中学生が来たわ。」と煙たがられるより「法中生来てうれしい！」という気持ちになってほしいですね。

生徒会副会長:大塚彩歌

大塚さんから実情をお聞きして、僕たち中学生がこれからずっと使わせていただく施設なのに、外部の方や職員の方に迷惑をかけてしまっていると感じました。人を不快にする行為があるのならば、その事実を反省した上で、僕たちなりに前向きに行動できる「キャンペーン」を実施したいと思います。まずはキナルなんぶの「最低限のルール」を改めて確認し、その上で皆が正しく行動できるように、全校に呼びかけたいと思います。 生徒会長:神田悠月



職員の大塚さんの話を真剣に聴きます。

生徒や地域  
の方の名言

- 学級に互いを注意するよい響きが感じられます。（3年生代議委員）
- 法中は、いつも明るい雰囲気がありますね。（地域の薬剤師さん）
- 先生が今日いなくても、やれるっていうところを見せようぜ！（2年生）
- 最近、落ち着いて授業を受けられる日が増えていますね。（1年生）

